

(第三種郵便物認可)

当社は1948年の設立以来、自動車部品の小型部品の需要が拡大しており、お客様ニーズに応じて着実に業績を拡大してまいりました。86年には、生産体制の強化を目指し、江南市の2工場と美濃加茂工場を瀬戸市に集約し、社名を「テクノエイト株式会社」に改めました。これに伴い、小型部品中心だった生産設備を中型部品にも対応できるよう拡張しました。また、自動車業界の未来を見据え、20年以上前からアルミ部品の製造・販売を手掛けています。2009年にトヨタグループの一員となった後は、アルミ部品の受注拡大や新技術の開発を進め、17年にはトヨタプロジェクト表彰「技術の部」を受賞しました。

近年、自動車業界は大変革期を迎え、急速な技術進歩が進んでいます。特に環境問題への対応として、地球温暖化防止や大気汚染対策が求められる中、電動車の普及が加速しています。

わが社の技術開発

テクノエイト株式会社



永野智也社長

それに伴い、電動車専用部品の需要が拡大しており、当社では電力変換装置を保

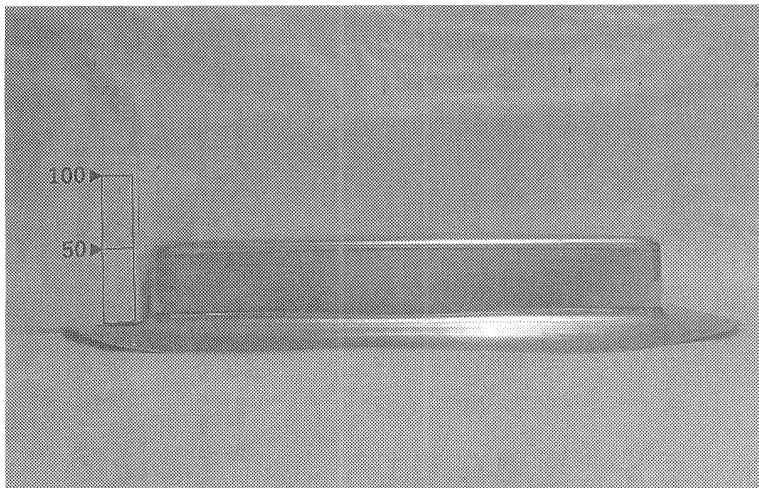
車の電動、軽量化に貢献

アルミニウム板 絞り成形技術開発

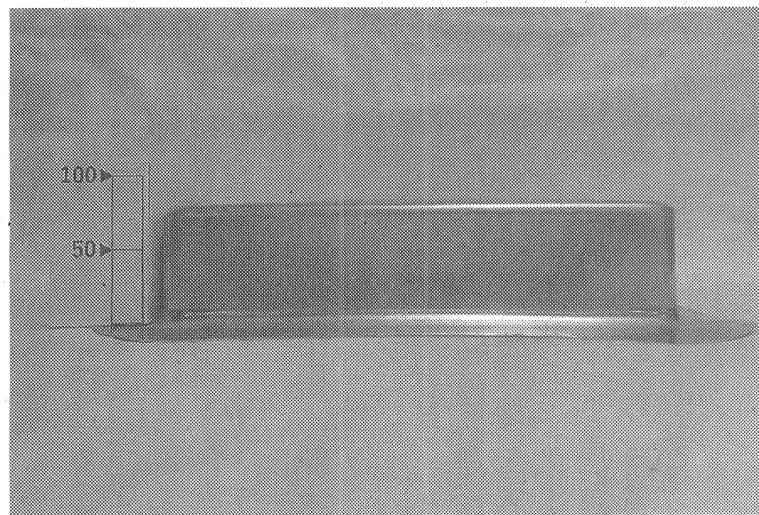
重要な機能を持ちます。成形時に割れやすいという課題があり、その解決が求められました。しかし、アルミニウム材料は鋼板材料と比較して、成形技術をさらに高め、

迅速に顧客ニーズに応えるためには、アルミニウム合金板の絞り構造の設計・開発、および部分軟化成形法の適用検討を実施しました。大加熱・軟化させた後に成形を行う手法です。まず、シミュレーションを用いて成形性や軟化範囲を検討し、変形が大きく割れが生じやすい部位を特定しました。その後、サーボプレス機を使用し、特定部分を成形前に加熱・軟化させることで

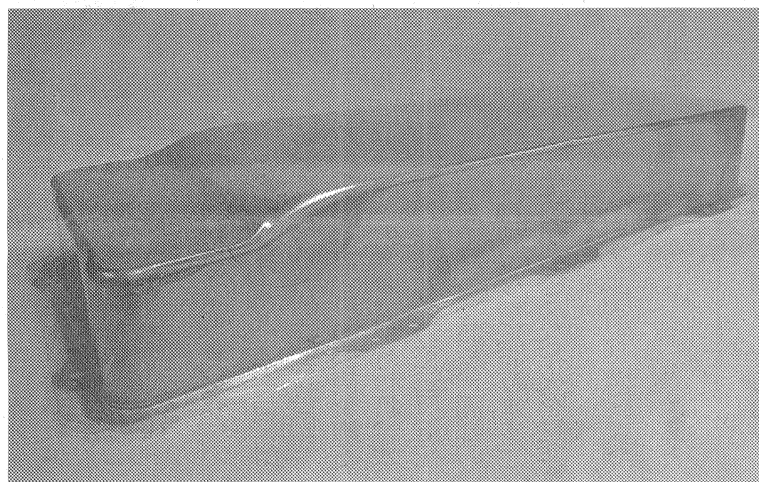
材料特性を改善し、割れのを、絞り深さを1工程で約1.6倍に向上させ、コンバーターケースの試作を実現しました。さらに、当社は新たな事業の柱として、超高張力鋼材（超ハイテン材）を使用した製品の生産を目的とした新工場を建設し、稼働を開始しました。これにより、さらなる軽量化、燃費・安全性向上など、車両性能全般への貢献を目指しています。今後も地球環境に配慮した取り組みを進め、地域社会の発展と豊かな社会づくりに貢献できるよう、たゆまぬ努力を続けてまいります。



角筒絞り成形品（従来品）



角筒絞り成形品（開発品）



アルミコンバーターケース試作品

<会社概要>

会社名	テクノエイト株式会社
所在地	愛知県瀬戸市暁町1番地
代表者	代表取締役 永野智也
電話	0561・48・5311
FAX	0561・48・1444
URL	https://www.techno-eight.co.jp/
設立	1948年9月
資本金	4億9500万円
社員数	622人
事業内容	自動車等のプレス部品製造等